

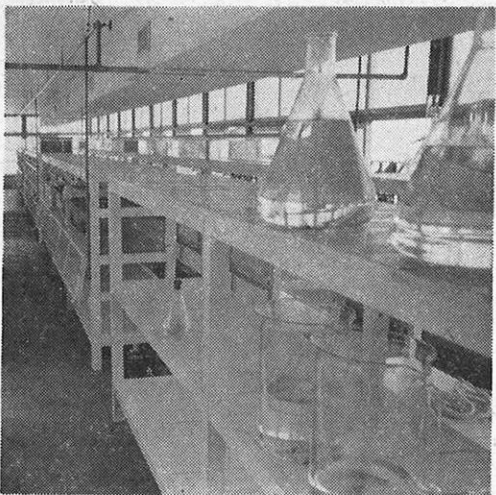
マ(珪藻類の一種)で、これは近くの海水から採取し、不純物を除いて純粋のスケルトネマを培養します。つぎの餌はアメリカ産のブラインシュリンプで、卵を輸入して、培養室でふ化します。三番目にあさり貝のミンチを与えますが、こうなると子エビの餌つけも大丈夫で餌料培養室の役目も終ります。

3 ふ化飼育室 木造平家建一棟

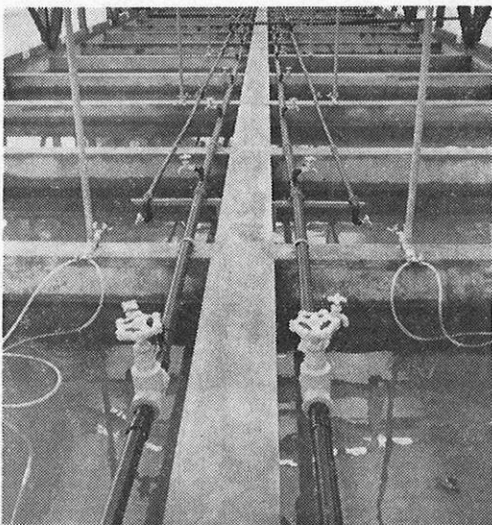
一四九・三二m²

エビの産室で、数万粒のエビの卵から、ここで子エビをふ化し、餌料培養室から餌の給食をして二十日間育てるところです。

ふ化飼育池(一・三m×二・五m×〇・五m)三十二面、送気設備一式、急速ろ過機一台があります。



(餌料培養室)



(ふ化飼育室)

4 屋外飼育池

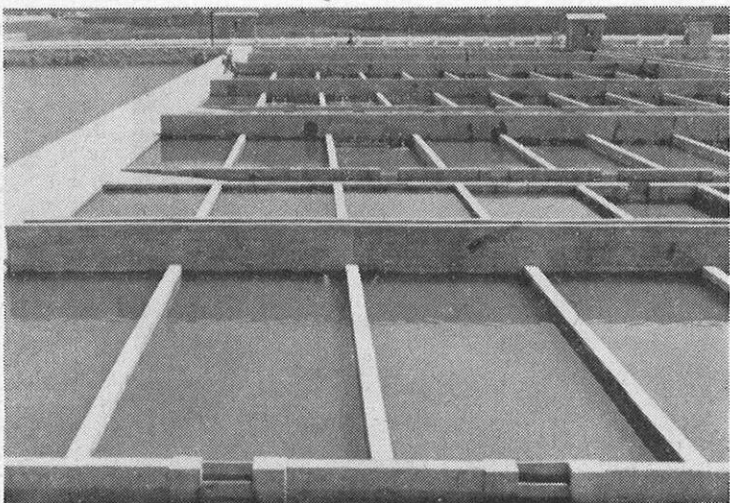
ふ化飼育室で十五ミリ程度に大きくなるとこの屋外飼育池に放流して育てます。

池は三千七百八十三m²のコンクリート水そうで、八十二面に仕切られています。

池は、潮の高低で給水池から一日六回自然に流れ込み、同時に排水されるので、自然の海とかわらない条件で飼育できるわけです。ここである程度まで大きくした子エビを初めて業者に配給するわけです。

5 海藻培養室 木造平家建一棟百八m²

天然ワカメの根株から胞子を採取して、人工的になわにつけて、室内で養い夏を越させるところです。長さ四・七m、巾二・七五m、深さ〇・七mの培養池が八面あります。



(屋外飼育地)

6 冷蔵庫及び作業室

倉庫・冷蔵庫木造平家建一棟

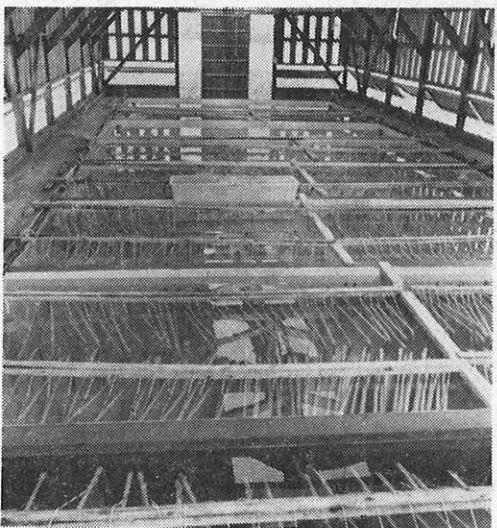
一六〇・三八m²

冷蔵庫鉄筋コンクリート建

二七・八〇m²

冷凍機三KW、十五KW、冷凍能力二トン大きくった車エビのえさを、冷凍して保存しておく役目もちます。

(海藻培養室)



7 給水池 一〇・九六〇m² 一面

潮の干満に左右されないで、新しい海水をたくわえておくところ。屋外飼育池に対し、一日六回転以上給水できます。

8 排水池 五五・四四二m² 一面

飼育池からの水を、ここに排水し、貯水するところ。給水池とポンプで連絡し、給水池が事故で減水したとき、給水池へ補給する役目をも持っています。また排水池を利用して、他の魚の試験的飼育もやるようになっていきます。

9 給排水ポンプ

ジーゼル十三馬力 二台

最大給水量毎分三・八トン

排水ポンプ ジーゼル四十八馬力

最大排水量毎分二十トン

10 種門

自動給水種門 二
排水種門 一

11 その他

(イ)海水ろ過槽 餌料培養室にきれいな海水を送るため

(ロ)消毒釜 くるための装置

(ハ)貯液槽

(ニ)異常水位警報装置

(ホ)船舶・貨物自動車

以上が施設の主要です。つぎに、この施設がどんな仕事をするのか、事業の概要をのべてみましょう。

一口にいいますと、この施設で、クルマエビ、ワカメ、ハマチその他の種苗の生産研究および増殖技術の開発を行なって、生産した種苗を養殖用として漁業者に配付することが主な仕事となっています。

種苗の種類ごとに説明してみますと、

○クルマエビ

本県のクルマエビは「肥後エビ」の名で古くから有名で、東京市場の七割余を占めています。この熊本の名産「肥後エビ」も現在は、不安定な天然の種苗にのみ頼っています。で、この施設によって人工的にふ化(四〜七月)し、養殖が比較的容易にできる大ききまで飼育して、養殖業者に供給しようとするのがねらいです。業者はこれを数カ月養殖の後、年末から三月にかけての端境期に出荷するわけです。クルマエビは、卵から↓ノープリウス↓ゾエア↓ミニス↓稚エビという変態を経て大きくなってゆきます。

○ワカメ

養殖ワカメは柔らかく美味で、しかも天然のものより早く採集できて、そのうえ高値で売れるという利点をもっています。そのため、冬期漁業のひまなときの漁業として好適です。この種苗は、五月頃種なわに胞子を人工的につけ、室内で培養して夏を越させたものを十月頃種苗として供給します。業者は、これを養殖の後翌年の一月頃から早期に出荷するわけです。ことしは第一回目で三万mの種子なわを作る予定です。

○ハマチ

ハマチは数カ月の短期間の養殖で大きく成長し、商品として高値に販売できるので、海産養殖の花形の一つとなっています。種苗はモジャコ(ハマチの子)を五〜六月頃餌付など人工管理して、健全な種苗として養殖し易い大ききものを供給するが、業者は網生簀などで養殖したのち、正月頃の高値のときに出荷するわけです。(ただし、当分の間ハマチはここで養殖せず、牛深分場で行ないます。)

○その他の種苗

この施設では、クルマエビ、ワカメ、ハマチの種苗と併行して、アワビ・カニ・タコ・イカ・フグ、その他の高級魚類の養殖用種苗の生産研究を行ない、また養殖技術を開発し、だんだんと実用化してゆく計画でいます。

種苗センターは、このように本県漁業振興のため、必要な施設をととのえ、いろいろな事業を行なっています。